

社会資本総合整備計画(地域住宅支援)

事後評価書

平成28年 3月29日

計画の名称	1 男鹿市住宅・建築物安全ストック形成計画																												
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)					交付対象	男鹿市																						
計画の目標	・『住宅・建築物の耐震化を行うことにより、安全で安心できる住まい・まちづくりを実現する。』																												
計画の成果目標(定量的指標)	・男鹿市における耐震性が確保された住宅の割合を58%(H22)を65%(H27)へ拡大する。 ・男鹿市における特定建築物耐震化の割合を72%(H22)を82%(H27)へ拡大する。																												
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> <tr> <td>① 住宅土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 (住宅の耐震化率) = (耐震性が確保された住宅数) / (全住宅数) (%)</td> <td>58%</td> <td></td> <td>65%</td> <td>※中間目標は任意</td> </tr> <tr> <td>② 男鹿市が所有する「多数のものが利用する特定建築物」の耐震性が確保された割合 (特定建築物の耐震化率) = (耐震性が確保された特定建築物数) / (全特定建築物数) (%)</td> <td>72%</td> <td></td> <td>82%</td> <td></td> </tr> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H27末)	① 住宅土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 (住宅の耐震化率) = (耐震性が確保された住宅数) / (全住宅数) (%)	58%		65%	※中間目標は任意	② 男鹿市が所有する「多数のものが利用する特定建築物」の耐震性が確保された割合 (特定建築物の耐震化率) = (耐震性が確保された特定建築物数) / (全特定建築物数) (%)	72%		82%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																									
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H27末)																										
① 住宅土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 (住宅の耐震化率) = (耐震性が確保された住宅数) / (全住宅数) (%)	58%		65%	※中間目標は任意																									
② 男鹿市が所有する「多数のものが利用する特定建築物」の耐震性が確保された割合 (特定建築物の耐震化率) = (耐震性が確保された特定建築物数) / (全特定建築物数) (%)	72%		82%																										
全体事業費	合計 (A+B+C)	209.5百万円	A	209.5百万円	B	-	C	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		-																		
事後評価																													
○事後評価の実施体制、実施時期																													
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期																							
男鹿市にて実施						計画期間終了年度末(平成28年3月)																							
						公表の方法																							
						市のホームページにて公表																							
交付対象事業																													
A 基幹事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考															
								H23	H24	H25	H26	H27																	
1-A1-1	住宅	一般	大仙市	直/間	市/民間	住宅・建築物安全ストック形成事業	耐震診断・耐震改修 市内全域						209.5																
合計												209.5																	
B 関連社会資本整備事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考													
										H22	H23	H24	H25	H26															
合計																													
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																	
C 効果促進事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考													
										H23	H24	H25	H26	H27															
合計																													
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																	

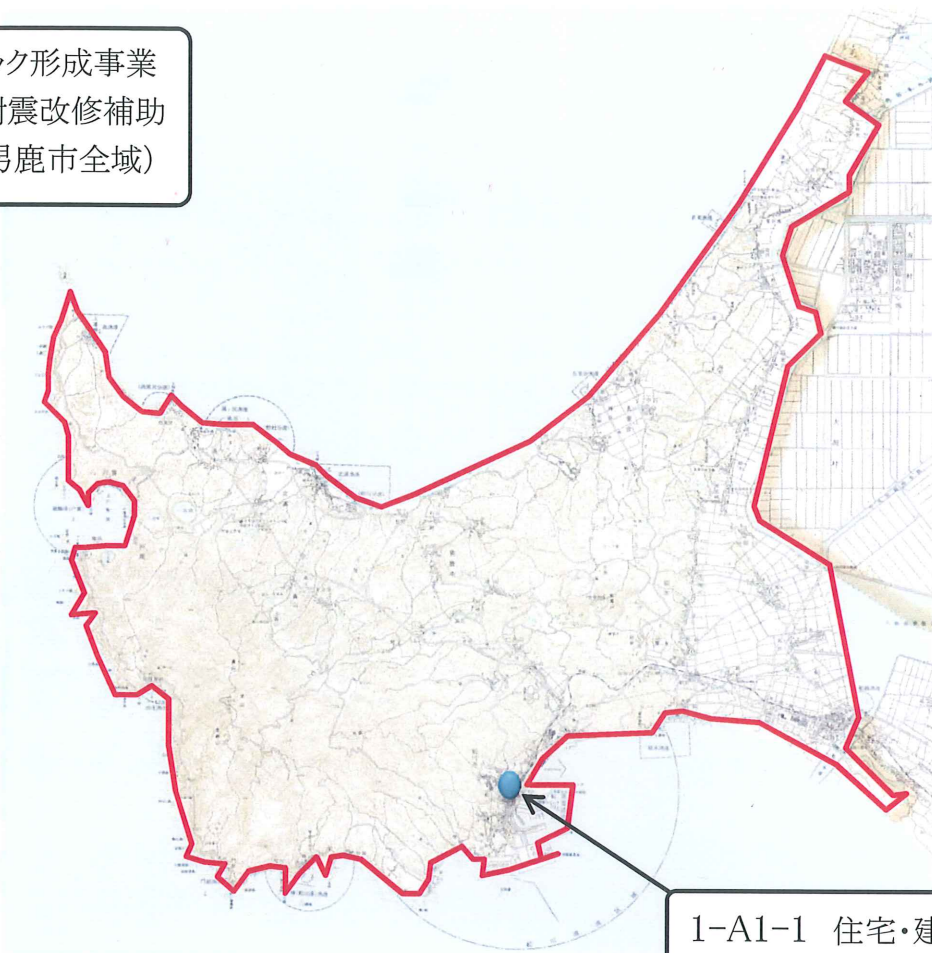
※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅・建築物の所有者等の耐震化を推進する上で、「木造住宅耐震診断・耐震改修」に関する助成制度を創設し、行政広報誌・市ホームページで広く周知しているが、市民の反応は鈍い状況であった。</li> <li>昭和56年以前に建築された市所有特定建築物については、1施設を除く全施設について耐震化を図ることができた。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（住宅土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。）	最終目標値	65%	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間木造住宅の耐震診断・耐震改修補助事業を実施及び募集したが、当初見込んだ申請件数を達成しなかったため、最終目標値より下回った。</li> </ul>
		最終実績値	60%		
	指標②（男鹿市が所有する「多数のものが利用する特定建築物」の耐震性が確保された割合）	最終目標値	82%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	97%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		引き続き、住宅・建築物等の耐震化の促進により、安全安心な住まいづくりの実現につなげる。			
3. 特記事項（今後の方針等）					

参考図

計画の名称	男鹿市住宅・建築物安全ストック形成計画		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	交付対象	秋田県男鹿市

1-A1-1 住宅・建築物安全ストック形成事業  
木造住宅耐震診断・木造住宅耐震改修補助  
※男鹿市全域が対象(赤枠内が男鹿市全域)



1-A1-1 住宅・建築物安全ストック形成事業  
男鹿市役所庁舎耐震診断・耐震改修